

第92回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2025年1月8日(水) **16:00~17:30**
場所 早稲田大学79号館(STEP22)304室

演題

スポーツの未来を創る現象学的視点

市原 龍太郎 (カリフォルニア州立大学)

■抄録

スポーツ大国アメリカにおいて、スポーツは身体的活動の枠を超え、文化や社会を結びつける力を持つ。本セミナーでは、カリフォルニア州立大学の公式アスリートおよび留学生としての経験から学んだ、スポーツが果たす社会的役割や学問的価値について議論を展開する。また、専門分野の研究においては、障害者スポーツにおける現象学的研究を基盤に、身体の経験が個人の自己形成や社会的包摂にどのように影響を与えるかを考察する。

Cal State Fullerton.



■プロフィール

高校卒業後、プロサッカー選手を目指し2016年に留学。カリフォルニア州立大学フルトン校にて公式アスリートとしてプレーし、Health and Human Development 学部Kinesiology 学科と哲学を専攻し卒業。在学中は、現象学を基にユースアスリートの燃え尽き症候

群についての研究を行い、国際スポーツ哲学会にて発表するなど、学問にも注力。また、コロナ禍において、現象学を自身の言語学習経験に当てはめた、独自の短期英会話習得方法を開発し、TEDx にて講演。その後、脳性麻痺を持つ実弟と生まれ育った経験とメルロポンティの現象学を掛け合わせた研究『Developing A Phenomenology of Physical Activity with Cerebral Palsy』を発表し、同大学修士号を主席で卒業。現在は、同大学講師を務め、スポーツ心理学博士号進学への準備中。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 宮下 政司・石津達野・安永太地
早稲田大学 スポーツ科学学術院

E-mail: yasunaga.taichi@aoni.waseda.jp